

2024年度 専修学校 育成保育カレッジ学院 自己評価及び学校関係者評価報告書

自己評価報告責任者：校長 仲村 義明

学校関係者評価報告責任者：学校関係者評価委員会委員長 西江 徳雄

1. 学校の教育目標

2.

社会生活で必ず要求される心のやさしさや礼節、知識を養い教養文化のバランスのとれた人間育成を目標とする。

本校は、沖縄独特の文化、礼節・謙虚・感謝、見えないけれど大切なココロ、勝ち負けよりも礼を重んじる。子どもを愛し「ありがとう」の気持ちを忘れない。それが、育成が求める「保育道」である。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

教育目標 「育てるココロを育てる」

入学定員の充足率が50%

退学率 13%

就職率 100%

① 振り返り

今年も学校評価委員会を開催し、委員の方々と問題解決に取り組み、学校評価委員会からの最終報告書をもとに、令和6年度においても引き続き対象校となるよう努力していきたい。学校関係者評価委員会から指摘された項目は、さらに努力して改善し入学定員の充足率の80%を目標に安定した学生募集が出来る様、授業内容を充実させて本校の強みである専門職である保育士の質の担保を確保し、グループのラポール育成こども園での連携を図り、学校として全教職員で取り組みに努力したい。これからも本校は県内の保育園及び認定こども園等で保育士不足解消の為に人的資源を生かし保育士養成の専門学校として社会に貢献できる学生を育成し努力し推進していく考えである。

充足率が5割未満は要件が厳しいと考えるが県内の保育園等から深刻な保育士不足という地域の経済社会にとって重要な専門学校であると考え。なぜなら、本校は30年以上の保育園等の実習の実績があり連携体制がとれる企業等（認可保育園や認定こども園、幼稚園、施設）が、200園近くあるのも本校の社会に果たす貢献度も検討してほしいと希望する。又、卒業生の就職率も毎年95%以上の実績がある。

今、全国的に保育士養成校の定員不足で四大や短大及び専門学校の募集停止の記事が報告されている。

かつてのブランド女子大も本当に学生が集まらない時代になってきたことは、保育園や認定こども園でも保育士確保がいつそう厳しい状況になっている。市町村保育園を経営する園長からは「近くに保育士養成校がない」・「保育士が全く採用できない」等の深刻な悩みが本校にも声として聞こえる。

そして、令和6年度に入学した学生で3人が本校の卒業生の子供や兄弟・姉妹であり、親子二代で入学して頂き学校として嬉しい限りである。

② 学校関係者評価委員会コメント

各項目ごとに評価委員会のコメントが記載されている。

自己点検評価及び学校関係者評価

専修学校 育成保育カレッジ学院

自己点検日評価実施日	2024年 5月13日～ 5月31日
学校関係者評価実施日	2024年 6月 5日(水) 午後1:30～
自己点検評価項目	適正:4 ・ ほぼ適正:3 ・ やや不適切:2 ・ 不適切:1
学校関係者評価項目	適正:4 ・ ほぼ適正:3 ・ やや不適切:2 ・ 不適切:1

評価内容		自己評価	達成状況	関係者評価
1.教育理念・目標 理念・目的・育成人材(教育理念(建学の精神)・目的・目標、育成人材像等が明文化されているか。職業教育機関として専修学校教育に必要とされる考え方や指針、内容等が盛り込まれているか。				
①	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか(専門分野の特性が明確になっているか)	4	明確に文章化している。	4
②	学生・保護者に対して教育理念等を明文化し、周知しているか。	4	HP・パンフレット・ガイダンス等で周知している。	4
③	教職員に対して教育理念等を明文化し、周知徹底を図っているか。	4	周知徹底している。	4
④	学外の方に対して教育理念等を明文化し、公表しているか。	4	HP・パンフレット・沖専各ガイドブック・ガイダンス等で公表している。	4
学校関係者評価 教育理念・目標はWeb上、入学案内パンフレット、入試方法学費ガイド等で明文化されている。実践的なスキルを習得するための指針が明確で、実習・演習等も保育園・こども園・幼稚園とも連携・提携されている。				

2.学校運営 運営方法(運営方針は教育理念等に沿ったものになっているか)				
①	教育方針や教育目的等に沿った運営方針が策定されているか。	4	策定されている。	4
②	学校の年間スケジュールはあるか。	4	ある。	4
③	教職員(組織の構成員)それぞれの職務分掌が文章化されているか。	4	文章化している。	4
④	資格・要件を備えた教員を確保しているか。	4	確保している。	4
⑤	授業評価の実施・評価体制はあるか。	4	ある。	4
⑥	教員の資質向上への取組を行っているか。	4	行っている。	4
⑦	教職員に対して、学習指導のための教育訓練や安全管理のための避難訓練をしているか	4	定期的に避難訓練の時期を明示している。	4
⑧	事務職員の意欲・資質の向上を図るための方策を講じているか。	4	ミーティングを都度行っている。	4
学校関係者評価 運営方針は年間スケジュールを定め、資格・要件を備えた教員を確保し、授業評価等も行う等教育理念に沿っている。				

3.教育活動 目標の設定（教育理念、教育目的及び育成人材像に沿った教育課程を編成・実施しているか）				
①	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか。	4	明確にし、時間数も確保している。	4
②	教育理念・到達目標に沿って学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか。	4	編成している。	4
③	講義及び実習に関するシラバスは作成されているか。	4	作成している。	4
④	各科目の一コマの授業について、その授業シラバスが作成されているか。	4	作成している。	4
⑤	「職業実践専門課程」修業年限は2年以上となっているか。	4	当校は3年課程となっている。	4
⑥	「職業実践専門課程」総授業時間数は、1700時間以上または総単位数が62単位以上となっているか。	4	時間数もクリアし、総単位数は（昼間部）114単位である。	4
⑦	学生によるアンケート等で、適正に授業評価を実施しているか（学習の目的を満たしているか、満足度を含めて定期的に確認しているか）	3	授業終了後に感想文の提出は実施しているが、未だ不十分なので、定期的に確認して行く。	3
⑧	評価結果を教員にフィードバックするなど、その結果を授業改善に役立てているか。	4	役立てている。科目によって不明な所もあるので、今後検討していく。	4
⑨	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか。	4	県内の講師で現場経験の豊富な方が多く、実践的なカリキュラムを導入している。	4
⑩	「職業実践専門課程」専攻分野に係る関連分野の企業・団体等と連携し、演習・実習等を行っているか。	4	30年以上の実習を実施しており、実習先を幼稚園・保育園・施設と実施している。	4
⑪	企業・施設等での職場実習（インターシップ含む）があるか。	4	実施している。各自3ヶ所に配属し、行っている。	4
⑫	企業・地域・行政との連携を図っているか。	4	多くの人的ネットワークがあるので、常に連携を図っている。	4
⑬	県内の人材を活用して、授業等を行っているか。	4	多分野で現場実績のある方に依頼し、行っている。	4

学校関係者評価

教育理念・到達目標に沿ってシラバスを作成しており、「職業実践専門課程」も時間数を十分達成している。各専門分野における専門職の講師が在籍し、授業終了後の感想文を実施し、授業評価・教員へのフィードバックを実施している。

4.学修成果・教育成果 学修成果（各学科の教育目標、育成人材像に向けてその達成への取り組みと評価がされているか）				
①	コース全体を通して、及びコースの終了時に、学習者の習熟状況をアセスメントしているか。	4	年に2回習熟状況をアセスメントしている。	4
②	学生の学修成果の評価に際して、育成する人材像に沿った評価項目を定め、明確な基準で実施されているか（測定する知識、スキル及び、測定の基準、アセスメントの方法は明確か）	4	明確である。各科目明確に評価している。	4
③	就職率の向上が図られているか（結果を分析し、就職指導・支援の改善を図っているか）	4	図っている。毎年就職先は95～100%で向上している。	4
④	学生の就職に関する目標に対して教職員に共有されているか。	4	共有している。	4
⑤	学生の就職活動に関する記録がなされているか。	4	記録している。	4
⑥	対外部に向けた就職実勢を公表しているか（パンフレット：HP等）	4	HP・パンフレット・新聞等で公表している。	4
⑦	資格取得率の向上が図られているか	4	資格取得は必修にしている。	4

⑧	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか（卒業生の就職後の動向をできるだけ把握し、卒業後にも就職その他の支援を行っているか。	4	多くの卒業生のOG・OBが園長・理事長・主任等要職に就いているのを把握し、又実習先等で評価をリサーチし、支援を行っている。	4
学校関係者評価 ・入学から卒業まで教育理念に沿って人材育成に大きく貢献している。 ・専門学校は実践的なスキルを身につけることが理念となることであり、学習成果の測定する知識・測定基準等は明確である。外部に向けた就職実態も公表している。資格取得は必修となっている。就職率も高い。				

5. 学生支援 修学支援（学生に対する修学支援に関する支援組織体制を整備し、学生が学修に専念し、安定した学生生活を送ることが出来るように図っているか。）				
①	学生への修学支援を適切に行っているか。	4	随時面談等を行っている。	4
②	就職担当部門と担任教員との連携は図られているか。	4	連携し、日頃より情報を共有している。	4
③	就職等に関する支援部署・相談部署はあるか。	4	ある。担任と事務職員で連携している。	4
④	県内への就職率の向上は図られているか。	4	図られている。毎年95～100%である。	4
⑤	学生相談に関する体制は整備されているか（相談窓口が設置されているか）	4	設置している。各担任と共有し、面談を行っている。	4
⑥	学生の面談・相談記録があるか。	4	記録している。	4
⑦	奨学金制度など、学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか。	4	整備している。30年以上の経験豊富な担当を置いて支援している。	4
⑧	公的支援制度の利用について、学生・保護者に案内、情報提供しているか。	4	HP・パンフレット・沖専各パンフレット等で情報提供している。	4
⑨	学費の減免、特待生制度、学校独自の奨学金制度はあるか。	4	減免や特待生制度等がある。又、社会人入学減免制度もある。	4
⑩	給付型奨学金や授業料等減免など、学生への経済的支援を行っているか。	4	家庭状況を参考にして、給付型と授業料減免の支援を行っている。	4
⑪	学生の健康管理を担う組織体制はあるか（学生の健康診断を実施しているか）	4	健康診断を実施している。実習前は特に健康相談支援を行っている。	4
⑫	退学率の低減が図られているか（受講登録、出欠状況及び学習者の減少に関する分析が行われているか）	4	行っている。出席印・遅刻印・又欠席等をしっかり把握し、分析している。	4
⑬	中途退学者数、中途退学の原因・傾向等を把握しているか。	4	把握している。面談等を繰り返し行い原因を究明し、修学支援を側面から行っている。	4
⑭	緊急時の保護者等との連絡体制を確保しているか。	4	緊急連絡先を確保している。	4
⑮	成績・素行不良の場合には、保護者等に連絡を取り、あるいは面談しているか。	4	連絡し、保護者と三者・四者の面談を行っている。	4
⑯	学校情報を卒業生に知らせているか（HP・学校便り等）	4	HP等で知らせている。学校を訪ねてくる学生も多い。	4
⑰	社会人学生ニーズを踏まえた教育環境が整備されているか。	4	働きながら入学出来るよう、夜間部も整備している。社会人入学制度もある。	4
学校関係者評価 ・一人ひとりの学生を大事に健康管理に気を配り、面談等を積極的に行い丁寧に関わっている。 ・学生支援を細かく丁寧にしており、卒業生からの信頼も高い。				

6.教育環境 施設・整備等（施設・整備は教育上の必要性に十分に対応できるよう整備されているか）				
①	施設・整備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか（講義室には学生数、時間割にあわせ、無理なく整備されているか）	4	整備している。	4
②	教育上の必要性に対応した機材・備品を整備しているか。	3	機材・備品の不足が少し課題。	3
③	実技・実習に先立って、職業倫理や情報の取り扱いに関する規定・マニュアルや規則が整備されているか。	4	専任・担任を置き、対応している。	4
④	校外実習等についての成績評価基準を明確に決めているか。	4	大学と連携した基準で明確に決めている。	4
⑤	校外実習等は、教育課程の中に組み込まれているか。	4	組み込まれている。	4
⑥	防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか。	4	R4 年度に再度防災に対する整備取り組みをして、適切に運用をしている。	4
⑦	防災・防犯整備（非常灯・消火器・警備システム等）が整備・点検されているか。	4	防災・防犯システムを整備し、点検を行っている。	4
学校関係者評価 ・校外実習等については大学と連携した基準で明確にされている。防災・防犯システムは専門業者と連携し整備されている。消防からも良好だと言われている。コンピューター教室を見る機会があり、多少古い機種ではあるが先端技術計算をするわけではないので、問題はないだろう。更新促進も進めてほしい。 ・ICT 機器の整備を整え、学習目標を効果的に行っていただけるよう要望します。				

7. 学生の受け入れ募集 学生募集活動（学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に学生募集及び入学者選抜を行っているか。社会人入学生、留学生、障がい者等、多様な学生の受け入れについて方針を明確にしているか）				
①	学生募集活動は、適正に行われているか。	4	定期的に高校訪問や冲専各ガイダンスや進学ガイダンス等を行っている。	4
②	学校案内に、育成人材像、特徴、目指す資格・免許等をわかりやすく紹介しているか。	4	HP・パンフレット等で紹介している。	4
③	学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に学生募集を行っているか。	4	公正且つ適切に行っている。	4
④	高等学校等直結する教育機関に対し、教育活動等の情報提供を行っているか。	4	県内の高等学校を定期的に巡回し、進路担当者と情報提供している。	4
⑤	学校案内等には選抜方法が明示されているか（入学に必要な学力、スキル、資格、職業経験などの、前提となる要件が明示されているか）	4	HP・パンフレットにて明示している。	4
⑥	社会人の「学び直し」に対応し、社会人を積極的に受け入れているか。	4	今迄に多くの社会人を受け入れ、資格講座も開講している。	4
⑦	履歴書（学歴、所有資格など）を適切に入手し、適切な管理を行っているか。	4	行っている。 守秘義務の管理を徹底し、担当を決めて管理している。	4
学校関係者評価 ・門戸を広げ保育士を目指す人にとって素晴らしい募集活動になっている。 ・入試方法ガイド・パンフレットにより学生選抜方法が明示されており、学生募集活動は職員が県内高等学校を定期的に訪問して適正に行われている。				

8. 教育の内部質保証システム		関係法令、設置基準等の遵守（法令、専修学校設置基準等を遵守し適正な学校運営をおこなっているか。）		
①	所轄官庁に、申請・届出等を遅滞なく行っているか。	4	行っている。遅滞なく提出している。	4
②	学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか。	4	実施している。	4
③	個人情報の取り扱いについて、教職員に対し周知し、意識づけが出来ているか。	4	出来ている。 常に意識づけを行っている。	4
④	学校教育、学校運営について、自己点検・評価を実施し、さらに課題解決に取り組んでいるか。	4	自己点検・評価を実施し、取り組んでいる。	4
⑤	自己点検・評価報告書にまとめているか（自己点検・評価報告書があるか）	4	まとめて整備し、保管している。	4
⑥	自己点検・評価組織があるか。	4	ある。	4
⑦	学校関係者評価の実施体制を整備し、学校関係者評価を実施し、改善の取り組みを行っているか。	4	実施体制を整備、実施している。	4
⑧	学校関係者評価を実施するための組織体制を整備しているか。	4	整備している。	4
⑨	学校関係者評価結果を報告書にまとめているか。	4	まとめている。	4
⑩	学校関係者評価の結果に基づき改善計画を策定したか。	4	策定している。 改善計画の実行に少し時間がかかるが、努力はしている。	4
学校関係者評価 法令・専修学校設置基準等を遵守・適正な学校運営が行われている。				

9. 社会貢献・地域貢献		社会貢献・地域貢献（学校の教育資源や施設を利用した社会貢献・地域貢献を行っているか）		
①	地域、関連業界、同窓会等が研修会・研究会等を開催する際、学校施設・整備等を開放しているか。	4	解放し、協力の要請がある場合は実行している。	4
②	県専各連合会の若年者職業意識涵養事業（県の委託事業）に積極的に参加しているか。	4	積極的に参加している。	4
③	学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか。	4	行っている。 （多数のボランティア依頼があるが、授業等を鑑みて奨励している。）	4
④	学生が地域や地域住民の開催する行事・イベント等へ参加する事を奨励しているか。	4	奨励している。 （多数のボランティア依頼があるが、授業等を鑑みて奨励している。）	4
学校関係者評価 地域・各業界に施設を開放し、学生が地域住民の開催する行事・イベントへボランティアで参加することを奨励している。				